

神島高等学校

実施日時	① 平成30年5月24日(木) ②平成30年11月1日(金)
参加者	① 生徒761名 ② 生徒758名
実施内容	① 大津波避難訓練 ② 「世界津波の日」防災学習


主なプログラム

① 大津波避難訓練

- ・SHR ☆担任からクラスで避難先の確認をさせ、午後、時間はわからないが津波避難訓練を行うことを伝える。避難先までのルートは指定せず、混雑具合等を判断し各自自分でルートを選び速やかに避難先まで避難するという指示を事前に徹底しておく。また、アンケート用紙を配布し、避難訓練終了後、振り返り。
- ・5限 通常授業開始 40分経過後
☆地震発生！「緊急地震速報」
- ・6限 (想定) 3m津波到達時間 15分
5m津波到達時間 16分
☆授業担当教員は生徒に安全な姿勢をとるよう指示する。
☆大津波警報発令・避難指示(校内放送)
☆授業担当教員は生徒に安全かつ速やかな避難を促す。
○生徒全員「てんでんこ」に田辺高校へ向かって避難する。
田辺高校下に大型タイマーを置き、各自、避難にかかった時間を確認する。
○帰校後、生徒はアンケートにより避難訓練について振り返りをする。



② 「世界津波の日」防災学習

- ・SHR ☆担任から「避難カード」の説明と避難訓練について説明。
 - ・5限 通常授業開始
☆13:10 地震発生！「緊急地震速報」(教頭)
 - ・6限 ☆教科担当の教員は生徒に安全な姿勢をとるよう指示する。(シェイクアウト訓練)
☆13:15 頃
○津波の恐れなし、事務室付近で火災発生、全員体育館へ避難するよう指示する。
○職員は消火班、救護班、搬出班に分かれ対応。
☆13:25 体育館集合完了。
☆13:30 田辺市防災まちづくり課職員による講話「地震津波について」
- 
- ☆14:15 学年別火災訓練(田辺市消防本部協力)
 - (1年生) 消火器使用体験
 - (2年生) 煙体験
 - (3年生) 脱出シューター体験



参加者感想文

① 大津波避難訓練

- ・校門前の横断歩道のところで事故が起きそうなので、気をつけたいと思った。
- ・津波はどのくらいの高さかわからないので、高いところへ高いところへ避難すべきだと思った。
- ・神島高校は、海と近いので急いで逃げて自分の命を守れるようにしたい。
- ・地震が起こったときに冷静に判断できるように、改めて日頃から考えておきたいと思った。
- ・実際全校生徒にプラス一般の人たちもいるので、訓練で早く逃げられたとしても、当日は混雑して逃げられないため、もっと時間がかかると思った。学校付近にはお年寄りの方もいるので、余裕があれば手助けしてあげられたらいいなと思った。

② 「世界津波の日」防災学習

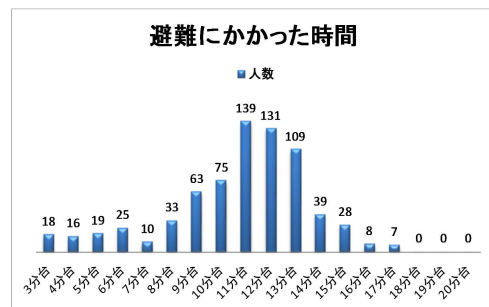
- ・防災は起こってからするのではなく、起こる前から自分の中で大事なことと考え、家族や友達と話しておく必要があると思った。
- ・災害はいつ起こる本当にわからないので、日頃から避難経路の確認や非常持ち出し袋を用意し、実際に対応できるようにしておきたい。
- ・30cmの津波でも人が身動きができないということがわかった。

- ・消火器の機能や使い方がよくわかった。
- ・簡易ランプや簡易トイレの作り方など非常時の参考になると思った。

成果と課題

① 大津波避難訓練

避難にかかった時間は、11分台が最も多く昨年より1分早かったものの、校舎から脱出するのにかなりの時間を費すと考えられる。授業教室が普通科棟と経営科棟に多くあり、どうしても正門に人が集中するが、通用門側は人が少なくスムーズに校外に出ることができた。各自が混雑を緩和することを意識し、人の少ない方へまわるなど、普段からいろいろな経路を想定しておくことも必要であると考えられる。5月に実施した訓練と今回の火災に重点をおいた訓練により、地震発生により起こるであろう津波や火災に対する避難意識は、確実に高まりつつあることがアンケートから伺うことができた。今後、避難場所である田辺高校や地域の方々と連携した訓練が実施できるよう計画したい。



② 「世界津波の日」防災学習

5月に実施した訓練と今回の火災に重点をおいた訓練により、地震発生により起こるであろう津波や火災に対する避難意識は、確実に高まりつつあることがアンケートから伺うことができた。今後、避難場所である田辺高校や地域の方々と連携した訓練が実施できるよう計画したい。